

エア開放式キャッチャー部 RHL-OP08



正しく安全に効率の良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。
本製品は米袋の搬送のみに御使用ください。

エア開放式キャッチャー部 RHL-OP08をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

はじめに

- 本製品は弊社にて販売しておりますライセンスホルダーに使用するキャッチャー部専用製品です。基本的な注意事項や操作等は本体の取扱説明書を参考にしてください。又その取扱説明書を熟読してから本書をお読みください。
- この取扱説明書はエア開放式キャッチャー部の取扱方法と使用上の注意事項について記述してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しく最良の状態でご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも読めるように紛失や損傷の恐れのないすぐ取り出せるところに、必ず保管してください。
- この製品を貸与する場合、作業する人に取扱説明書を熟読願ひ、十分な指示や訓練を行った後にこの取扱説明書と共に貸与してください。また譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、販売店より購入し、いつでも読めるように保管してください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。
-  印付の記号は、重大な身体の傷害や死に至る危険が起きる可能性のある操作や状態を示しますので、必ずお守りください。



⚠ 危険 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。



⚠注意 安全な取扱に対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、
傷害または製品の重大な損傷に至る可能性があることを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しております。使用前に必ずお読みください。

項目	1章 安全に作業するために	2章 各部の名称、安全銘板の貼付位置	3章 取付け及び組立て作業
	4章 作業前の準備及び保管のしかた	5章 作業のしかた	

1 章 安全に作業するために

ここに記載されている注意項目を守らないと、傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

⚠ 警告 こんなときは、作業しない

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない。
 - 酒を飲んだとき。
 - 妊娠しているとき。
 - 18才未満の人。
- 

「守らないと」思わぬ事故の原因になります。



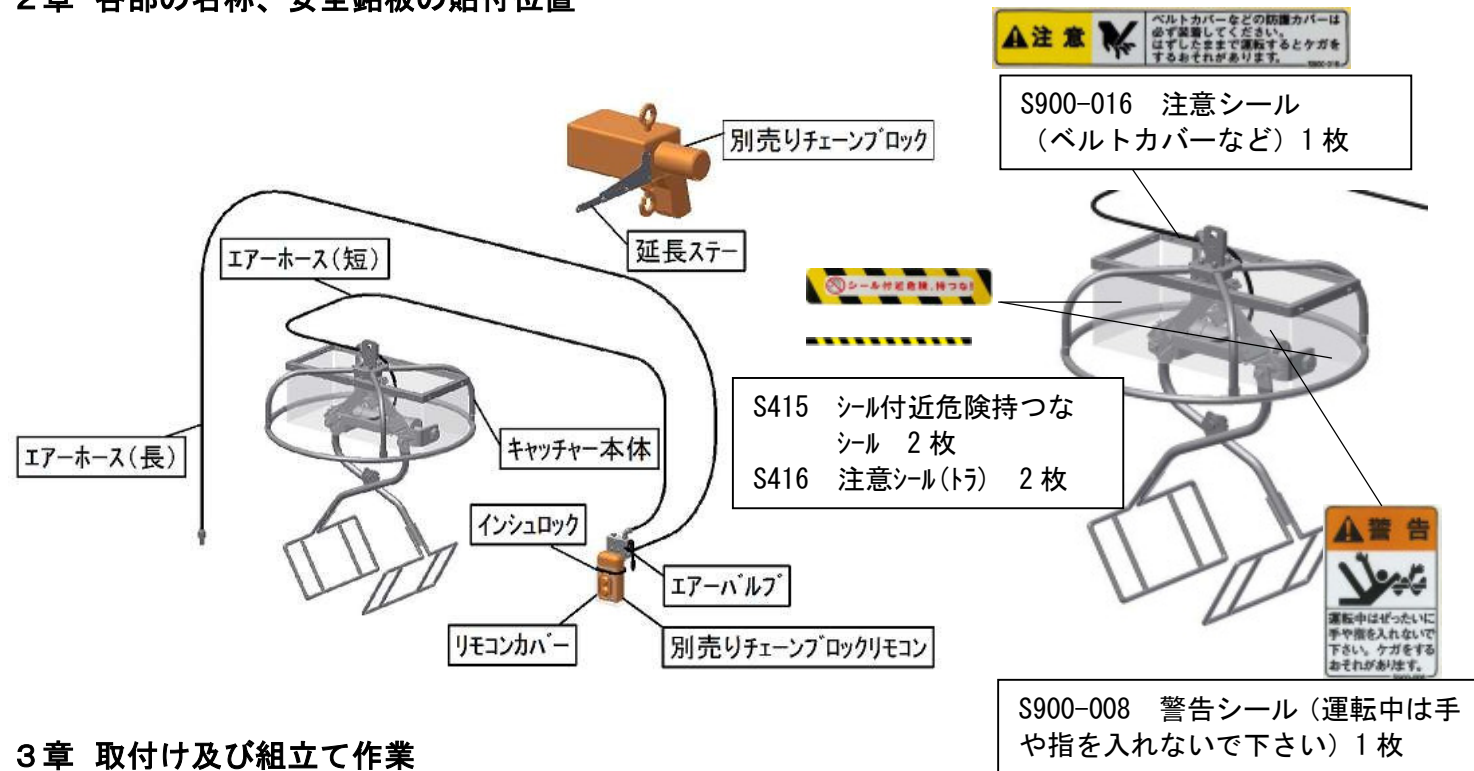
⚠ 警告 作業に適した服装を

- はち巻や首巻や腰タオルは禁止です。
作業に適した服装をしてください。
「守らないと」機械に巻き込まれたり、怪我をするおそれがあります。

⚠ 警告 機械を他人に貸すときは

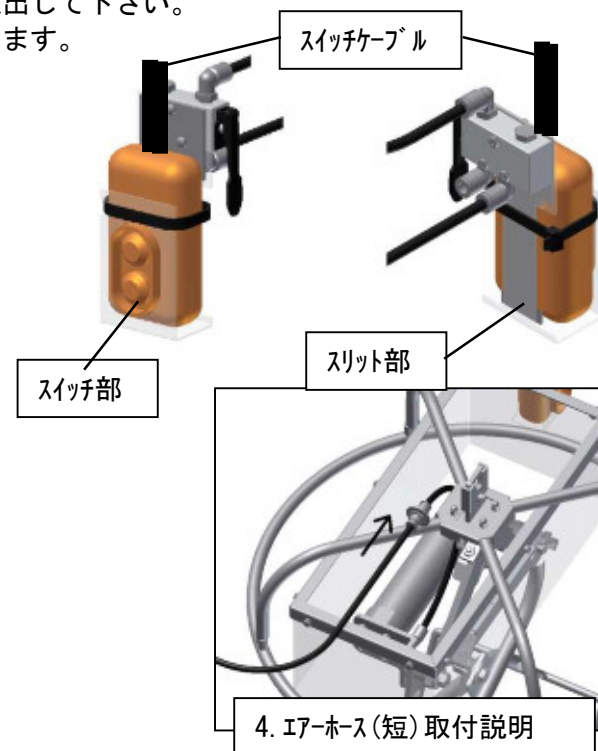
- 取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
「守らないと」**重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。**

2章 各部の名称、安全銘板の貼付位置



3章 取付け及び組立て作業

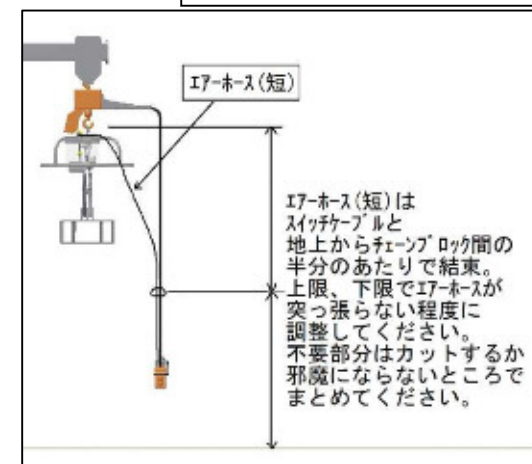
- 本取扱説明書は梱包箱に同梱されております。
- 1. まず箱を開き、キャッチャー本体とリモコンカバー、エアホース一式を取
- 2. 別売りのαSB-006N チェンブ®ロックリモコンにリモコンカバーを取り付け
カバーを押し開くように入れ、前方の長穴とスイッチ部、後方
の形状とリモコンのスリットを合わせて嵌めこみます。
おさまった所でインシュロックで締めあげて固定します。
- 3. 次にチェンブ®ロック本体についている既存ステーに延長ステーを
取り付けます。付属している M6 ボルト、ナットで取付します。
延長ステー先端に U ボルトを再度取り付けてスイッチケーブルを
取り付けてください。
- 4. キャッチャー本体をチェンブ®ロックのフックに取り付けてください。
次にキャッチャー本体に付いている継手（右図）にエアホース（短）
の先端を差し込んでください。
- 5. 同梱してあるインシュロックにてエアホース長短とスイッチケーブルを
結束していきます。地上からチェンブ®ロックの半分程の高さ
まで結束したら、そこからはエアホース（長）のみスイッチケーブル
と結束していきます。（間隔は 50cm 程度を推奨）
この時、エアホース（短）が長すぎるようであればカットして
ください。初期 3m あります。
- 6. 最後にエアホース（長）の先端がうをコンプレッサーに繋げて
下さい。エアが繋がったまま上記組立を行うと
大変危険です。



4 章 作業前の準備及び保管のしかた



- 警告 1** 取扱説明書が理解できない子供や、幼児には本機に触れさせないようにしてください。
- 2 コンプレッサからの出力は 0.6MPa を推奨します。最大 0.7MPa 以下にて御使用ください。
- 3 各種ホルト、ナット類が締まっているか確認してください。
- 4 保管する場合はコンプレッサからエアホースを外した状態で保管してください。

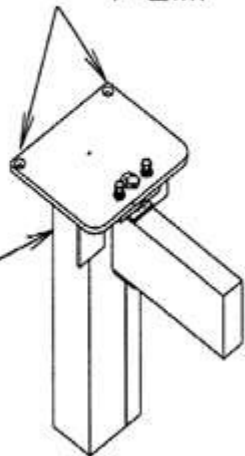


危険

RHL-2000の支柱(上)の上部には
転倒防止の為ロープを掛ける穴が
開いています。
安全に作業してもらうためのものです
ので設置の際は必ず使用してください。

ロープを掛ける穴
(2箇所)

支柱(上)



5章 作業のしかた

- ▲警告

1 本機は 30kg 米袋搬送専用のオプションです、他の用途に使用しないでください。
搬送途中での落下によりケガをする恐れがあります。
- 2

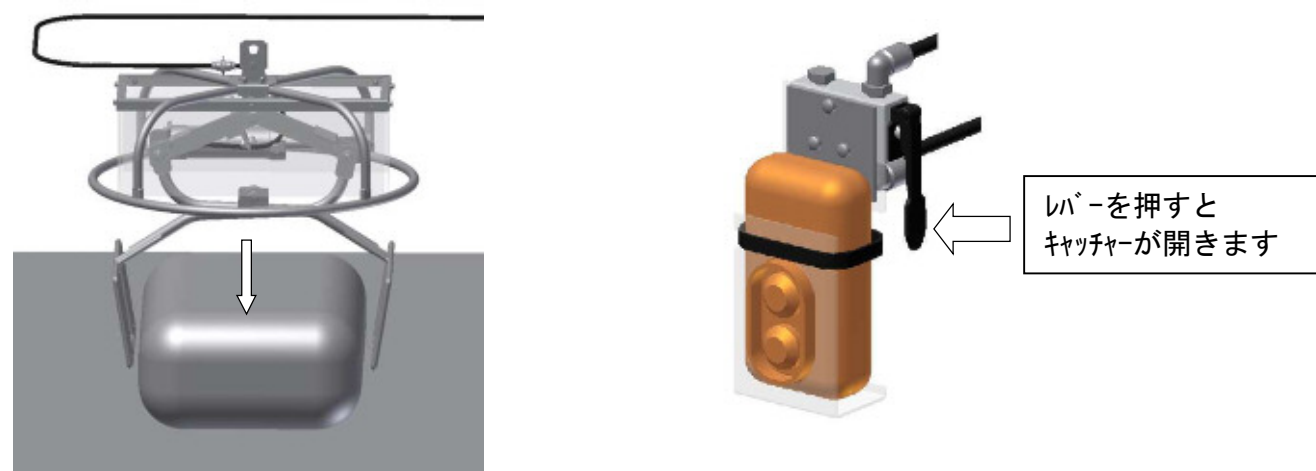
作業中は安全カバーの内側や、挟む支点部等に手などを入れないでください。
また、カバーを絶対に外さないでください。エアーの力で大けがをする恐れがあります。
- 3

米袋を搬送するときは、安全カバー外側のリングパイプ、丸パイプ部分を持って作業してください。
丸パイプ部を持つ時は注意シール付近を持たないようにしてください。挟まれてケガをする
恐れがあります。
- 4

空中で米袋を放す際には、落下場所の安全を確認してください。
突起物や、物の角等に落下させると米袋が破損する場合があります。
また、自身の身体に落下させてケガをする恐れがあります。

それでは作業を始めます。

1. 本機を米袋上部へ移動させます。
2. 掴み部が開いた状態で米袋の上に完全に降ろします。
3. 上昇させると米袋を掴んであがります。
4. 米袋を降ろしたい位置でチェンブロックを下降させるか、もしくはスイッチ部の
エアーバルブを操作することで空中からでも米袋を落下させて置くことができます。



米袋の中心を狙って降ろします。

空中で米袋を放したい時は上記エアーバルブのレバーを
押し込んでください。
エアーの力で開きますので持ち手の位置、身体の位置に
十分に注意して作業してください。



本社営業部	岡山市中区雄町字八反田 394-3	(086) 279-6100
北海道(営)	旭川市工業団地 5 条 3 丁目 3 番 1 号	(0166) 36-5115
東北(営)	仙台市宮城野区萩野町 4 丁目 2-44	(022) 232-5609
関東(営)	群馬県伊勢崎市東区粕川町 1616	(0270) 21-8127
九州(営)	熊本市東区健軍 3 丁目 45-13	(096) 368-7407
本社工場	岡山市中区雄町字八反田 394-3	(086) 279-0313

お客様メモ

購入日 平成 年 月 日

購入店名